ＳＢＣ	1　設備量の算定 ⑴　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼数（接続呼に係るものに限る。）をＳＢＣ収容率及びＳＢＣ呼処理部１ユニット当たり最大処理最繁時呼数で除したものを、当該局のＳＢＣユニット（呼処理部）数とする。ただし、当該局に設置するＳＢＣの設備量がＳＢＣ１ユニット当たり最大処理セッション数により決定する場合には、ＳＢＣユニット（呼処理部）数は０とする。 ⑵　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼量（接続呼に係るものに限る。）から算定したＳＢＣ同時接続数をＳＢＣ収容率及びＳＢＣセッション管理部１ユニット当たり最大処理同時接続数で除したものを、当該局のＳＢＣユニット（セッション管理部）数とする。ただし、当該局に設置するＳＢＣの設備量がＳＢＣ１ユニット当たり最大処理セッション数により決定する場合には、ＳＢＣユニット（セッション管理部）数は０とする。 ⑶　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼量（接続呼に係るものに限る。）をＳＢＣセッション数とし、これをＳＢＣ収容率及びＳＢＣ１ユニット当たり最大処理セッション数で除したものを、当該局のＳＢＣユニット数とする。ただし、当該局に設置するＳＢＣの設備量がＳＢＣ１ユニット当たり最大処理最繁時呼数及びＳＢＣ１ユニット当たり最大処理同時接続数により決定する場合には、ＳＢＣユニット数は０とする。 ⑷　⑴のＳＢＣユニット（呼処理部）数から光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時呼数比により算定するものとする。）を控除したものを、当該局のメタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（呼処理部）数とする。 ⑸　⑵のＳＢＣユニット（セッション管理部）数及び⑶のＳＢＣユニット数から、それぞれ光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時帯域比により算定するものとする。）を控除したものを、メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（セッション管理部）数及びメタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット数とする。 2　投資額の算定 次の算定式により、局ごとＳＢＣ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、ＳＢＣ投資額を算定する。 局ごとＳＢＣ投資額 ＝（メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（呼処理部）数×ＳＢＣユニット（呼処理部）単価 ＋メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット（セッション管理部）数×ＳＢＣユニット（セッション管理部）単価 ＋メタルＩＰ音声系ＳＢＣユニット数×ＳＢＣユニット単価） ×（１＋相互接続局共通設備投資額加算率）